

住友商事のサステナビリティ



2018年10月24日

住友商事株式会社

Copyright © 2018 Sumitomo Corporation, All Rights Reserved.

AGENDA

1. ESG投資を巡る潮流と住友商事のサステナビリティ
2. 住友の事業精神、住友商事グループの経営理念とマテリアリティ
3. 住友商事グループの価値創造モデル
4. 中期経営計画の取り組み
5. 社会・環境課題に対する取り組み
6. 株主・ステークホルダーとのコミュニケーション

「持続可能な社会」の実現

- 社会の持続可能性を脅かす環境問題
- 人権問題等、国や地域・産業に跨る普遍的な社会問題
- より厳しく問われる企業の社会的責任

「企業の持続的成長」の追求

- 経営指針、価値創造の仕組みの明確化
- 社会課題との関わり(機会／リスク)
- 自社の強み、経営資源の活用
- 長期的企業価値向上の取り組み

- 多岐に亘る分野でグローバルに事業を展開。持続可能な社会の実現に貢献する責任。
- 事業を通じて社会課題の解決に取り組み、社会とともに持続的に成長。

2. 住友の事業精神、住友商事グループの経営理念とマテリアリティ

住友の事業精神

「信用・確実」「浮利を追わず」「進取の精神」「自利利他公私一如」

住友商事グループの経営理念

目指すべき企業像

私たちは、常に変化を先取りして新たな価値を創造し、広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指します。

経営理念

企業使命: 健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現する。
 経営姿勢: 人間尊重を基本とし、信用を重んじ確実を旨とする。
 企業文化: 活気に溢れ、革新を生み出す企業風土を醸成する。

社会とともに持続的に成長するための6つのマテリアリティ(重要課題)



様々なビジネスを通じ、多様な社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献

2. 住友の事業精神、住友商事グループの経営理念とマテリアリティ

意思決定プロセスにおける重要な要素

＝ 長期的社会課題動向、社会が求める価値提供の姿を踏まえ、戦略や個別投資を検討

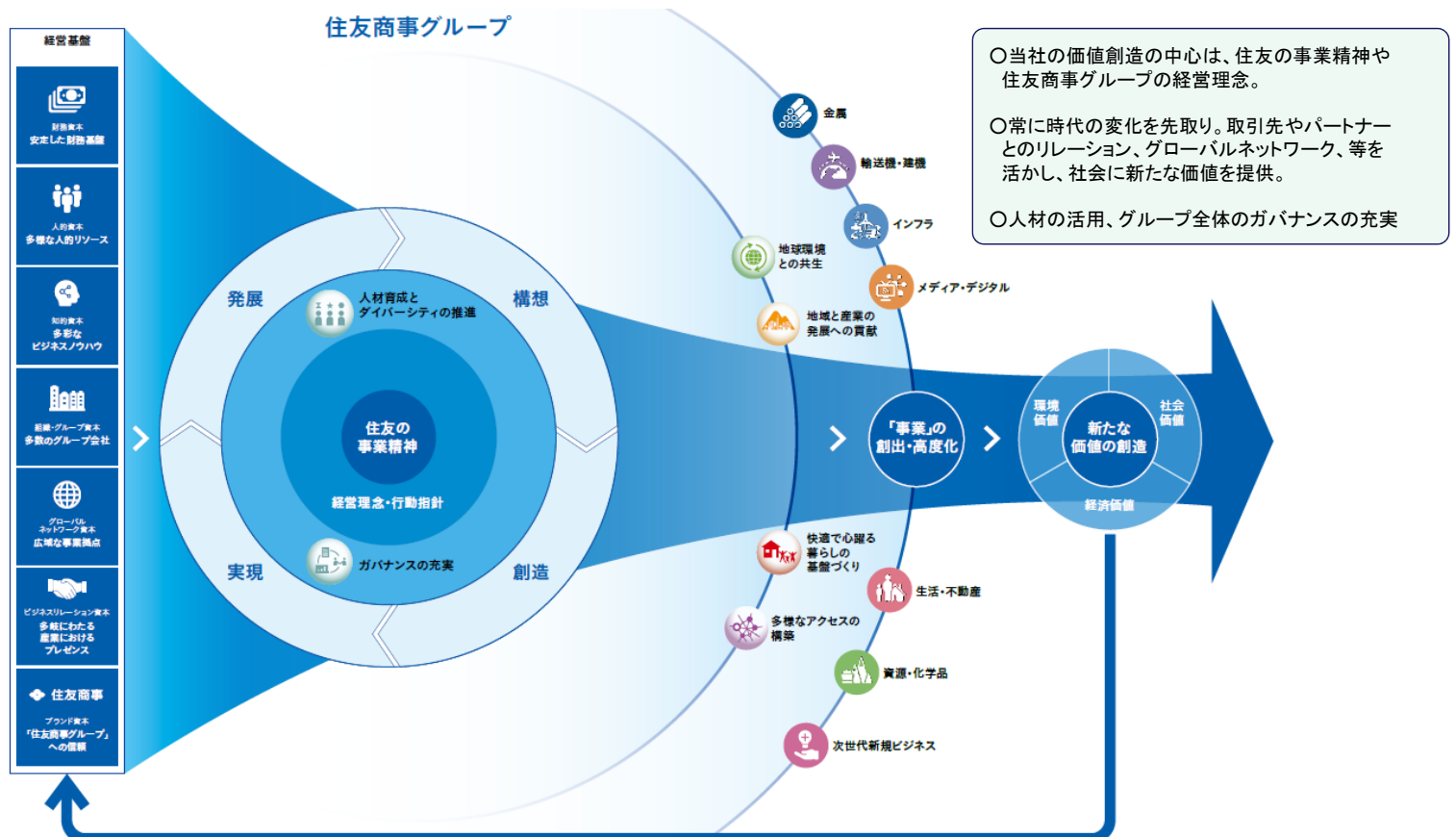
| 個別ビジネスを通じた経営理念の実践 | 全社事業活動の社会・環境への影響のコントロール | 社会課題の解決に資するビジネスの戦略的開拓 |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 長期的社会動向を踏まえた価値提供、ガバナンス、リスクコントロール | 当社グループ、サプライチェーンの社会・環境関連リスク管理 | 成長分野への経営資源配分 次世代新規ビジネスの創出 |

長期的な経営の安定性や成長性、企業価値の向上

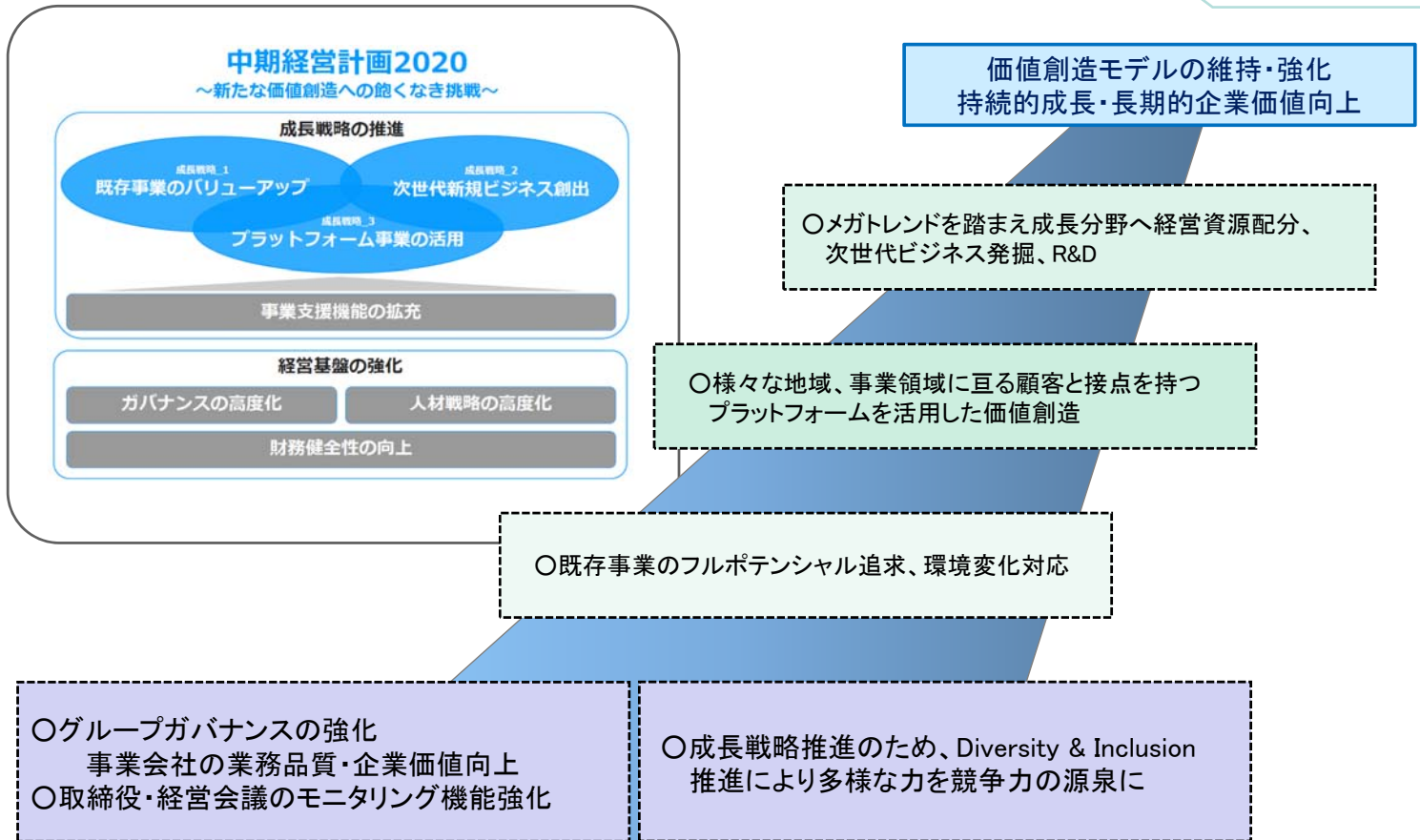
株主・ステークホルダーからの評価の向上

従業員のモチベーションの向上

3. 住友商事グループの価値創造モデル



4. 中期経営計画の取り組み



4. 中期経営計画の取り組み

次世代新規ビジネスの創出

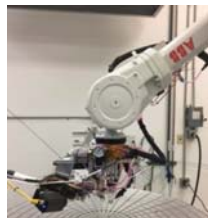
テクノロジー x イノベーション

IoT・AI 関連分野の事業開発体制強化(米国シリコンバレー)

- ・1998年:ベンチャーキャピタルPresidio Ventures設立
- ・2017年:米国シリコンバレーオフィスを開設

〈出資事例(実績)〉

- “Humatics” 高精度な3次元位置測定技術
- “Afero” 専用チップ搭載による電気製品のIoT化
- “Arevo” 炭素繊維複合材料の3Dプリンティング製品



Arevo

“TruTag Technologies” マイクロタグ製造ベンチャー企業

- ・粉末シリカを用いたマイクロタグ、ハイパースペクトルカメラ製造

“ナイルワークス” 農業用ドローンの製造・開発

- ・高精度の完全自動飛行
- ・搭載カメラを用いて一株ごとの農作物生育状態を把握
- ・最適な農業・肥料散布



ヘルスケア

〈既存の取り組み〉

米国ジェネリック製薬事業への参画

- ・沢井製薬米国子会社が保有するUSLに出資(2017.11)



社会インフラ

〈既存の取り組み〉

ブラジル水事業

- ・12州、約100市町村で約1,700万人に上下水道・産業用水処理サービス提供

電気自動車のリユース蓄電池活用

- ・世界初の大型EVリユース蓄電池システム(大阪市夢洲)

- ・甕島蓄電センター(鹿児島県薩摩川内市)



大阪市夢洲

5. 社会・環境課題に対する取組み 【気候変動問題への取り組み方針】

温室効果ガス排出抑制に向けた取組みと、エネルギーの安定供給という二つの課題に同時に取り組むことで、社会とともに持続的な成長を図る。

発電事業は、中長期的にガス火力・再生可能エネルギーへシフト、2035年を目途に、持分発電容量ベースで、

石炭比率を削減(50%→30%)

再エネ比率引上げ(20%→30%)



洋上風力発電事業(ベルギー)



酒田バイオマス発電所(山形県)

その他分野では、エネルギーマネジメント・蓄電池・水素ビジネス等の新技術・ビジネスモデルへ取組み

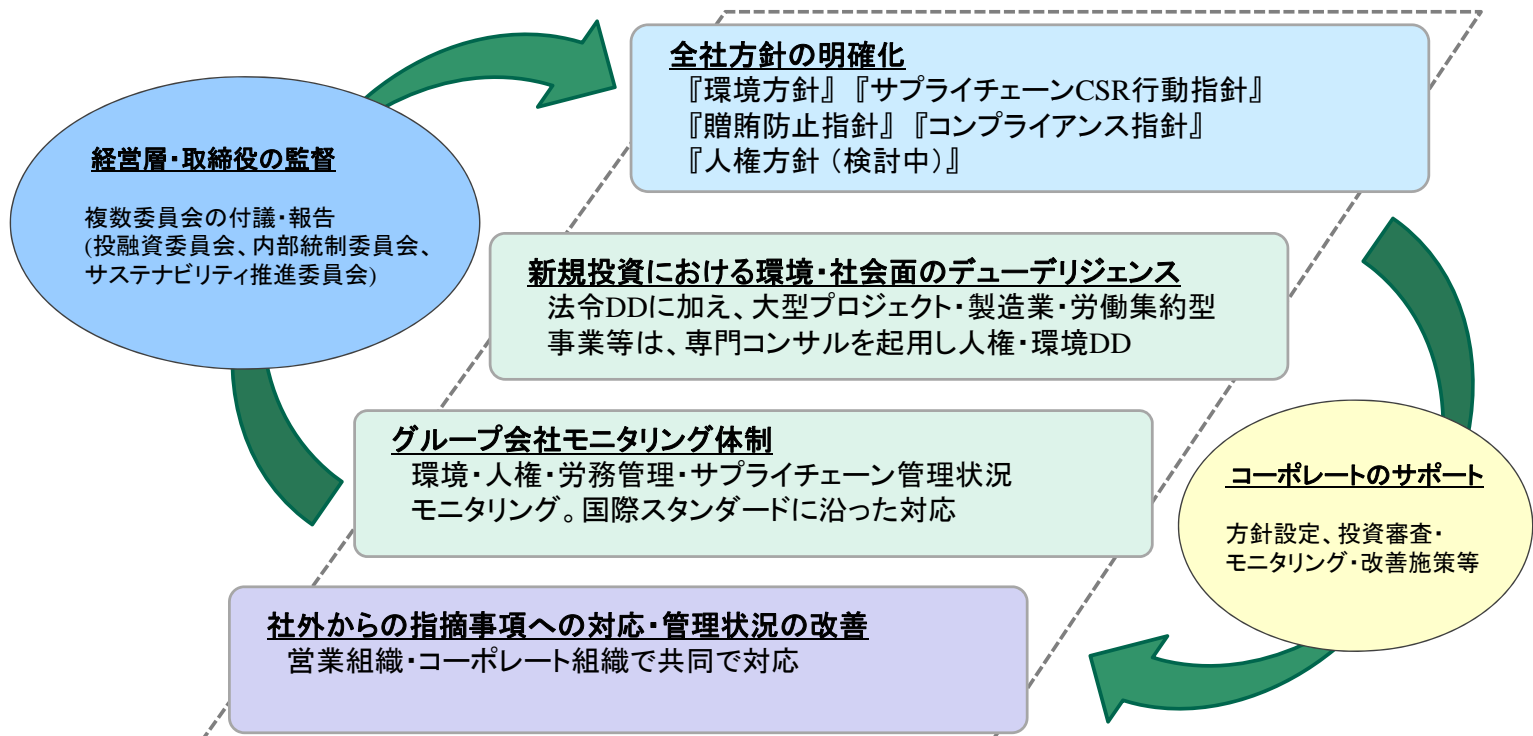


スマートスクーターと交換式バッテリー用充電ステーション(石垣島)



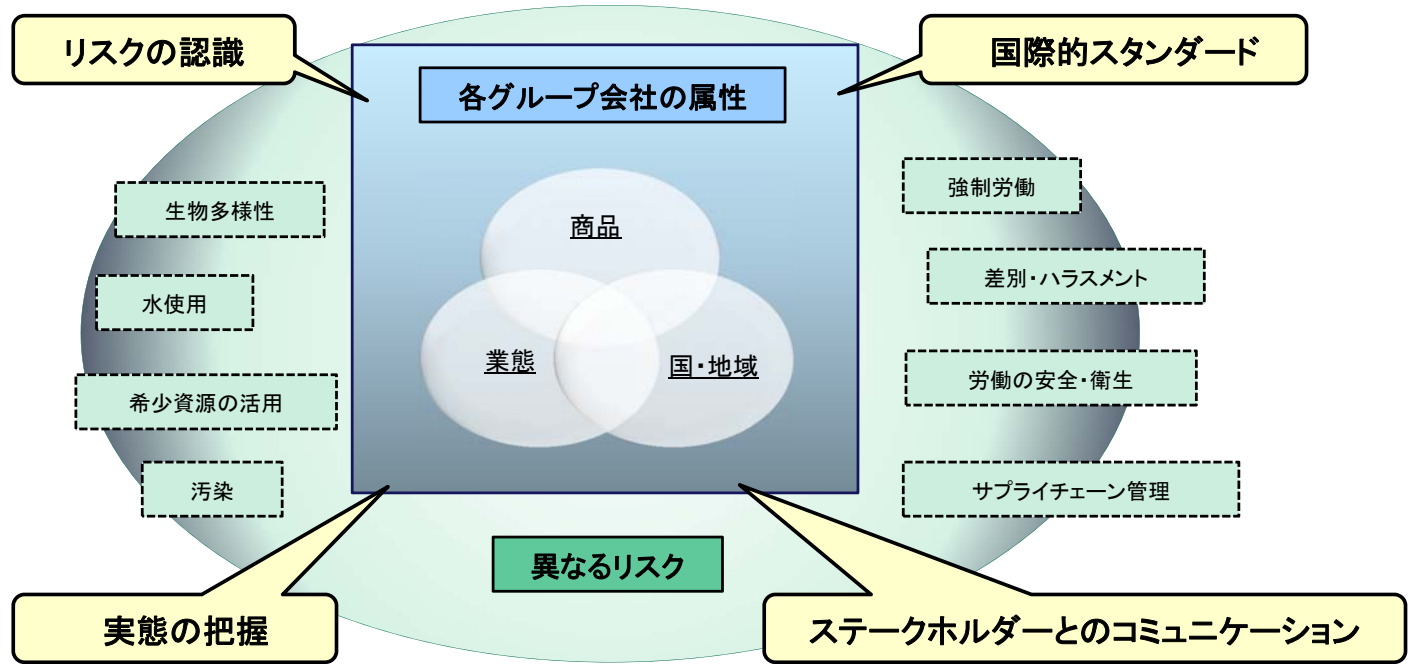
新潟蓄電センター(鹿児島県薩摩川内市)

5. 社会・環境課題に対する取組み 【ESGリスク管理】



5. 社会・環境課題に対する取組み【ESGリスク管理】

ESGリスクを含めたグループ会社のモニタリング



- 【注力課題】**
- ・事業ポートフォリオ全体のリスクプロファイル把握、優先対応リスク選別
 - ・人権問題を中心としたサプライチェーンリスク管理

6. 株主・ステークホルダーとのコミュニケーション

統合報告書

価値創造モデルを提示

投資家向けESG説明会

ESGコミュニケーションブック

サステナビリティの考え方や、社会・環境面の諸問題への取り組みを開示

【コンテンツ(案)】

1. 住友商事グループのサステナビリティ

- 経営理念、サステナビリティ
- マテリアリティ
- 価値創造モデル
- 中期経営計画
- サステナビリティの推進体制
- ESGリスクと機会の認識

2. 環境課題の取り組み(方針・事例)

- [環境マネジメント・気候変動・水資源・生物多様性・環境汚染・資源利用]

3. 社会課題の取り組み(方針・事例)

- [人権、労働安全衛生、人材育成、サプライチェーン、産業・技術革新・ヘルスケア、生活基盤・街づくり、社会貢献活動]

4. ガバナンス

- コーポレートガバナンス
- コンプライアンス
- リスクマネジメント
- 情報セキュリティ
- ステークホルダーエンゲージメント

5. ESG定量データ

- 環境
- 社会
- ガバナンス

6. 社外からの評価

- ESG評価等